



江別市は、子育てと教育のまち。充実した子育て支援制度と特色ある教育で、安心して子育てができる環境と子どもが健やかに育つ環境が両立するまちを目指しています。

子育てしやすい

魅力的な店が増えている



便利なスーパーマーケットは15カ所以上。地場産品を数多く扱っているお店も充実。個性的な飲食店が立ち並ぶエリアもあります。

コンパクトで混雑していない

市内を横断するJRの駅を中心に広がる、江別のまち。江別市の面積187.38km²は、道内179市町村中139番目。しかも市街地や商業地が集積しているので、よりコンパクトに感じられます。可住地(人が住み得る土地)面積は、総面積の89.8%で、札幌市の39.1%、北海道全体の28.9%よりもはるかに高いというデータもあります。

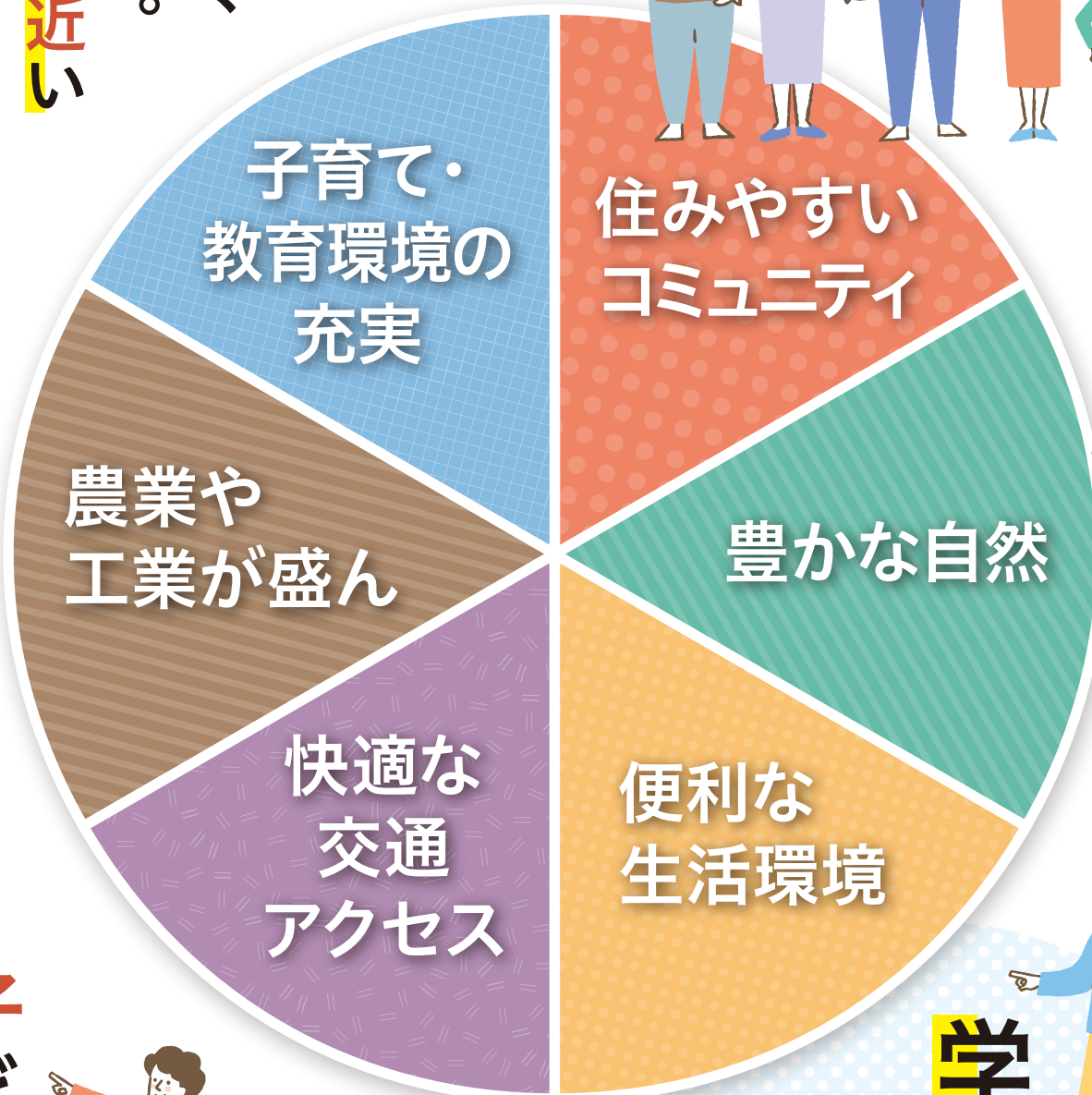
交通のアクセスが良い

JRなら野幌駅～札幌駅は約20分。バスは新札幌駅を結ぶ路線や、市立病院など市内の主要拠点を結ぶ路線があり、便利に利用できます。



都会過ぎず、田舎過ぎず。札幌市から近い

江別市の人口集中地域の人口密度は4,496人/㎢。札幌市の7,994人/㎢と比べると、ほどよく人がいる、と言えるでしょう。近隣市町村へのアクセスが良かったため、江別市に住む就業者の46.7%は、江別市外に通勤しています。



地域の活動が活発



自治会では花壇の整備やごみ拾い、夏休みのラジオ体操や登下校の見守りなどが行われています。

住みやすいコミュニティ

豊かな自然

便利な生活環境

子育て・教育環境の充実

農業や工業が盛ん

快適な交通アクセス



公園や自然に恵まれている



南西部に市域の約10%にあたる道立野幌森林公園が広がり、太古の面影を保ちながら豊かな緑が広がります。また、大小合わせて232の公園などがあるので街中にも緑が多く、子どもの遊び場に困りません。

買い物が便利

複数の大手スーパーマーケットが市内各所に立地しているので、日常の買い物に困ることはありません。



学生が多い

市内にある4大学+1短大の学生は、出張講座や大学祭、イベントのボランティア参加などで市民と触れ合う機会があります。



「セラミックアートセンター」での陶芸体験、「ガラス工芸館」での吹きガラス体験、「北海道立埋蔵文化財センター」での制作体験のほか、市内の農場での収穫や乳搾りなど、子どもも大人もさまざまな体験が楽しめます。

子どもも大人も体験できる